

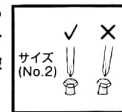
警告

このシールドをお使いになる前に、取扱説明書内の指示や警告を注意深くお読みください。取扱説明書内の指示や警告に従わずに生じた損害については、一切その責任を負いません。

- ・着色シールドは可視光線透過率を下げ、ある状況下では視界の妨げとなり、アオや死につながる事故を引き起こす恐れがあります。
- ・着色シールドは、夜間やトンネル内、雨天や霧等、視界の悪い環境では使用しないでください。このシールドは日中での使用専用です。
- ・着色シールドとともに、サングラスやインナーサンバイザー等の可視光線透過率を下げる製品を使用しないでください。併用した場合、視界が妨げられ、大変危険です。

シールドおよびシールドベースの取り扱い上のご注意

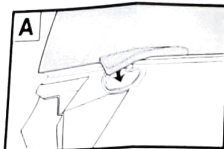
1. 使用前に、左右のシールドベース取り付けスクリーがしっかりと締まっていることを確認してください。スクリーは定期的に確認し、緩んでいるときは締め直してください。
2. シールドの汚れや傷は走行中の視界の妨げとなり、大変危険です。シールドが汚れたり傷が付いたりしたら、直ちに使用を中止し、取り外して洗浄するか、交換してください。
3. シールドは、水で薄めた中性洗剤で洗い、真水でよくすすいでから柔らかい布でふき取り、乾かしてください。40℃を超える湯・塩水・酸性またはアルカリ性の洗剤・ベンジン・シンナー・ガソリン・その他の有機溶剤・ガラスクリーナー等、有機溶剤を含むクリーナー類は使用しないでください。これらが付着すると、シールドが変質し、安全性に支障をきたす可能性があります。
4. シールドが曇った状態で走行しないでください。視界が妨げられ大変危険です。シールドが曇った場合、ロアエアインテークを開けたり、シールドを開けたりしてヘルメット内をよく換気し、シールドの曇りを取り除いてください。また、PINLOCK® fog-freesheet/PINLOCK® EVO lensの使用も、シールドの曇り防止に効果的です。
5. PINLOCK® fog-free sheet / PINLOCK® EVO lensをご使用の場合は、必ず純正品をご使用ください。取り扱い方法については、PINLOCK® fog-free sheet / PINLOCK® EVO lensに同梱されている取扱説明書をご覧ください。
6. シールドベースをクリーニングしたり、あるいはシールドベースを交換した場合、シールドを開めてシールドと窓ゴムの密着を確認してください。隙間がある場合、風の巻き込みや風切り音の原因となるため、シールドが窓ゴムに密着するようシールドベースの位置を調整してください。
7. スクリューの締め付けなどを行う際は、ビットサイズ「No.2」のプラスドライバーを垂直に当て、ていねいに回してください。サイズの合わないドライバーや電動ドライバーを使用したり、スクリーをななめに締め付けたりすると、ネジ頭を破損する場合がありますので、十分注意して回してください。スクリーを交換する場合は、必ず純正部品（アルミニウム製）をご使用ください。スクリーを強く締めすぎると、スクリーが破損する場合がありますのでご注意ください。（推奨締め付けトルク:80cN・m/約8kgf・cm）
8. シールドに、ステッカーや粘着テープを貼らないでください。



CNS-1/CNS-2 シールドの取り外し、取り付け方

※イラストはCNS-1シールドです。

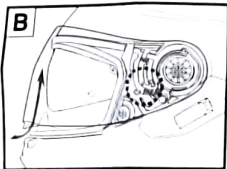
警告 CNS-1シールドはフィルムを外してから、使用してください。



シールドを完全に下ろすと、シールドノブがフックに掛かります。走行時は、このポジションにすることを推奨します(図A)。

シールド微開ポジション

シールドが曇った際に、図Bのように微開ポジションにして低速走行することでヘルメット内を換気し、曇りを取り除くことが出来ます。



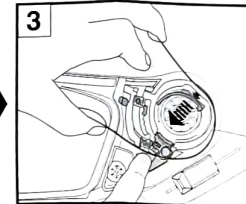
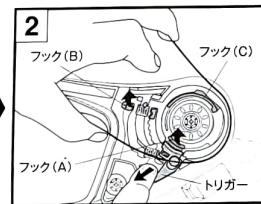
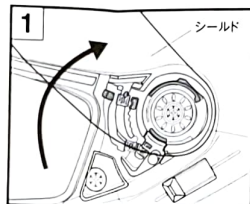
「CNS-1 ベースプレートセット2」のみ微開ポジションあり

警告

微開ポジションで高速走行した場合、シールドが不意に開く恐れがあり危険です。高速走行時は使用しないでください。

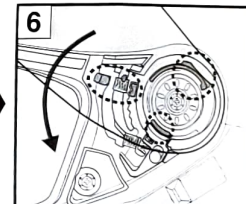
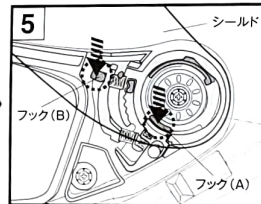
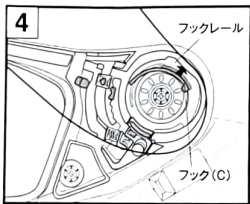
■ シールドの取り外し方

1. シールドを全開の状態にします(図1)。
2. トリガーを下に引きながら、シールドを手前に持ち上げフック(A) (B)を外したのち(図2)、フック(C)をフックレールから矢印方向に外して取り外します(図3)。
3. 反対側も同じ要領で取り外します。



■ シールドの取り付け方

1. シールドを全開状態の位置に合わせて、フック(C)をフックレールに差し込みます(図4)。
2. シールドの矢印付近を上からカチッとロックされるまで押し、フック(A) (B)をフックレールにしっかりとはめ込みます(図5)。
3. 反対側も同じ要領で取り付けます。



ご注意

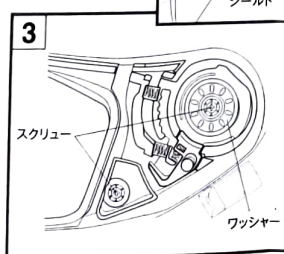
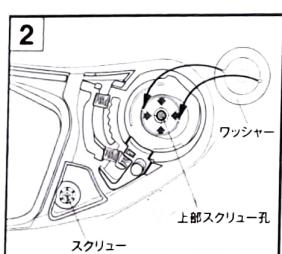
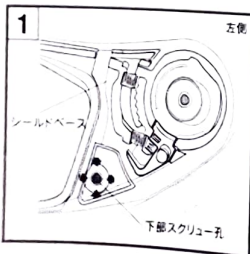
1. 使用前に、左右のシールドベース取り付けスクリーがしっかりと締まっていることを確認してください。スクリーは定期的に確認し、緩んでいるときは締め直してください。
2. フックやギアがシールドベースにはまっていないと、走行中にシールドが外れ、思わぬ事故を引き起こす可能性があります。取り付け後は、シールドの開閉操作を数回繰り返し、フックやギアが確実にままっているか確認してください(図6)。また、シールドを完全に下ろした状態で、シールドノブがフックに掛かるか確認してください。

CNS-1シールドの調整



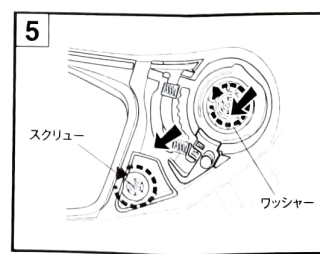
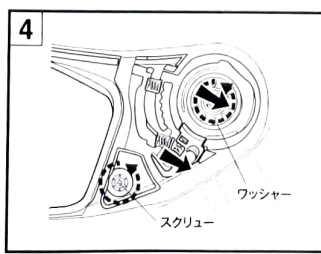
この取扱説明書にて表記される「右」「左」は、ヘルメットをかぶった状態で着用者から見た「右」「左」に対応しています。

1. シールドベース下部の孔を、シェル側の下部スクリー孔の上下左右の中心に合わせて(図1)、スクリーを仮止めします。
2. 次に、シールドベース上部の孔を、シェル側の上部スクリー孔の上下左右の中心に合わせて(図2)、ワッシャーを溝に合わせてはめ、スクリーを締め付けた後、下部スクリーも締め付けます(図3)。
3. 反対側のシールドベースも同じように取り付けます。
4. シールドを取り付けます。取り付け後、シールドのフックがフックレールに確実にままっているか確認してください。
5. シールドを完全に下ろした状態で、シールドが窓ゴムに密着しているか確認してください。



シールドと窓ゴムの間に隙間がある場合

シールドを外してシールドベースの位置を調整してください。シールドベースの調整は、2か所のスクリーを緩めたのち、シールドベースを図の矢印方向(図4参照)にずらしてスクリーを締め直します。調整後、シールドを取り付け、シールドと窓ゴムの隙間を確認してください。隙間がなくならないときは、再度シールドを外し、同じ要領で反対側のシールドベースの位置を調整してください。



最後に、シールドを完全に下ろした状態で、シールドノブがフックに掛かるか確認してください。シールドベースの取り付け位置が極端に後方になると、シールドノブがフックに掛からなくなることがあります。また、シールド開閉の際にシールドがシェルと干渉し、シェルに傷が付く恐れがありますのでご注意ください。

シールドと窓ゴムがきつく当たって、シールドの開閉がしづらい場合。

シールドを外してシールドベースのスクリーをゆるめ、シールドベースをほんの少し図5の矢印方向へずらし、スクリーを締めなおします。両側のシールドベースを調整します。調整後、シールドを取り付け、シールドの開閉動作を確認してください。また、シールドと窓ゴムの間に隙間がないか確認してください。